

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鷺沼

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	1	時間で区切り、大小の部屋両方を使用できるようにしています。	集団時や体の大きい子には狭く感じることもあるので、怪我のないように遊びの内容や取り組み方に配慮していきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	2	二人体制で療育をしたり、遊びの内容に応じて職員が参加したりとお子様のご様子や年齢、遊びの内容に応じて対応しています。	配置人数を満たし、また、療育に支障がないようにシフトを組んでいきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	「たいよう」「ほし」「にじ」のイラストを使用し、部屋を視覚的に把握できるようにしています。	構造上、玄関に段差があったり、柱が出っ張っていたりします。柱については、運動時には怪我のないように配慮していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	7	0	毎日、清掃・消毒を行っています。月に一回、大掃除を行っています。空気清浄機や捕虫器を設置しています。	異臭や虫対策として、オゾンと捕虫器の設置をしています。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	6	1	モニタリングやケース会議を複数の職員で行っています。店舗の目標は職員間で共有、振り返りを行っております。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	12月に保護者評価アンケートを実施しています。全職員がご回答頂いた結果やご意見に目を通しています。	頂いたご意見を確認し、職員で話し合い、改善に努めてまいります。また、必要に応じて本社に相談し改善に努めてまいります。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	12月に自己評価を行っています。評価と改善内容はホームページで公開しています。	引き続き、保護者評価と自己評価を行い、内容を公開していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	第三者による外部評価は行っておりません。	本社の判断で必要となった場合には対応していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	情報の共有や支援の向上に向け、道具の扱い方の研修、ヒヤリハットの研修、アセスメントの研修を行いました。	認知や情報に相違がないよう、引き続き必要な研修を行ってまいります。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	自社独自のアセスメントツールを使用し、6か月に1回行っています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	自社独自のアセスメントツールを使用しています。また、提示された進め方や道具で行っています。	評価が独断的にならないよう、複数人でアセスメントの実施と評価を行ってまいります。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	毎回、保護者からの聞き取り（お困りごと、興味のあること、ご家庭や集団生活のご様子）を行っています。聞き取った内容とアセスメントの結果をもとに支援計画書の内容を検討し、設定しています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	支援計画書とサービス提供記録の内容を確認し、プログラムの立案を行っています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	個人で立案する場合がありますが、ミーティング時に前回の振り返りや情報の共有、確認を行っています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	記録の内容を確認し、同じ課題でも道具や取り組み方を変えて行っています。また、新しい遊びやしばらく行っていない遊びも取り入れています。	他者に相談をしたり、本を参考にしたりしながらプログラムの内容を考え、固定化しないよう努力してまいります。また、療育道具を充実させていきます。

関係機関や保護者との連携	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	子どもの様子を把握し、保護者の方と相談をして個別と集団活動を検討しています。 個別と集団の状況を把握し、適宜組み合わせる支援計画書を作成しています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝礼・昼礼の時間を定めており、毎日行っています。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	昼礼と終礼を毎日行っています。 子どもの様子の振り返りや保護者の方と話した内容の共有、ヒヤリハットやその他の伝達事項を行っています。	引き続き、職員間で情報を共有していきます。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	療育後、速やかにサービス提供記録に記入しています。 情報共有シートを活用し、支援計画書以外の目標や注意点を共有しています。	誰が読んでも分かりやすい内容であるよう、具体的に記入していきます。 主観的な記録にならないよう、行った内容に対するお子様のご様子を記録に残していきます。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的にモニタリングとケース会議を行い、支援計画書の見直しを行っています。	複数人で話し合いができるよう機会を設けていきます。 保護者の方からの聞き取りも行っています。
	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	7	モニタリングなどのやり取りはありますが、担当者会議は行われていません。	担当者会議が開催される場合には児発管が参加致します。
	⑲	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	4	連携した支援は行われておりません。	関係機関と連携した支援は行っておりませんが、必要に応じて対応していきます。
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7	対象児童はいません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7	対象児童はいません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	保護者の方より希望があった際には、幼稚園や保育園への訪問、電話での情報共有を行っております。	引き続き、支援の充実化を図ります。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	7	小学校等と直接的なやり取りはしていません。 保護者の方よりご希望があった際には、書類を作成しております。	就学相談時の内容の聞き取りを行い、就学に向けて必要な支援や支援方法を検討していきます。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	療育センターが主催している研修に参加しています。 モニタリング時に情報の共有を行っています。 保護者の方からご希望があった場合には、他事業所と連携を取り、電話にて情報を共有してします。	お子様の様子や状況に合わせて、関係機関との連携を密にしていきます。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	実施機会はありません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	実施の通知がなく、参加しておりません。	実施させる場合には積極的に参加致します。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	フィードバック時に取り組みの様子をお伝えしています。 ご希望がある場合には、別途面談の時間を設けております。	フィードバックの時間以外にもお話ができるよう、必要に応じてこちらからお声掛けさせていただきます。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	7	実施しておりません。	保護者様のニーズに合わせて、対応を検討していきます。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時にご説明しています。 変更があった場合には、変更点を丁寧にお伝えしています。	引き続き、丁寧な説明を心掛けていきます。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	丁寧に分かりやすい説明をするように心掛けています。 説明後に同意のサインを頂いています。	引き続き、支援の充実化を図ります。

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	保護者の方よりご相談があった時には、丁寧にお話を聞くよう心掛けています。助言後に変化が見られたか等、その後のお話しも向うようにしています。	個人情報に配慮し、個室が空いている時には個室にご案内いたします。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	実施しておりません。	必要に応じて対応を検討していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談等があった場合には、職員間で情報を共有しています。お返事が必要な場合には職員間で話し合い、間を開けずにお答えできるように心掛けています。再度面談が必要な場合には、こちらからお声掛けさせて頂いております。	引き続き、丁寧にご対応ができるよう努めてまいります。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	毎月、そら通信を送付しています。ホームページを定期的に更新しています。	待合室にお知らせを掲示し、情報を発信していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	書類やパソコンは書庫で保管しています。帰宅時には必ず施錠をしています。	部屋が少なく、療育で部屋を使っている場合には待合室での面談、相談になってしまっています。部屋が空いている時には個室にご案内し、個人情報に配慮していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	絵カードや文字を使うなど、お子様に合わせて対応しています。	お子様の発達段階や様子を職員間で話し合い、適切な方法で対応ができるよう努めてまいります。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	実施機会はありませんでした。	世の中の状況もあり、開かれた事業所運営は難しいと感じております。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	定期的に研修を行っています。保護者様用として、待合室にマニュアルを設置しています。	マニュアルの読み合わせだけでなく、実践できる研修は実践し、実際に緊急事態が起きた時に職員が冷静に対応できるよう努めてまいります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	地震と火災、それぞれを想定して訓練を行っています。また、伝言ダイヤルの訓練も実施しています。	訓練ごとに反省点や改善点を考え、実際に災害が起き時に職員が冷静に対応できるよう努めてまいります。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	契約時に確認をしています。必要な対応方法を確認し、書類にご記入いただき、職員間で共有しています。服薬についてはフェイスシートで確認、把握をしています。	個人のファイルに書類を入れ、いつでも対応方法を確認できるようにしています。予防接種については、接種直後は職員間で共有し、運動の内容を配慮を配慮していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3	フェイスシートで確認、把握をしています。食育活動の際には事前に食材を保護者の方にお伝えしています。また、事前にアレルギーを確認しています。	引き続き、食材を扱う場合には十分に注意します。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	毎日、終礼時に確認しています。同じことが起きないよう改善点も考え、必要に応じて情報共有シートに記入しています。	ヒヤリハット研修を行い、事故防止に努めてまいります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止研修を、年に2回実施しています。来所時や帰宅時に挨拶をし、保護者様のご様子の変化に気がつけるようにしています。また、必要に応じてお声掛けをさせて頂いております。	他者の療育を見る機会を設け、良い点や改善点を伝え合い、療育の質の向上に努めてまいります。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	対象児童はいません。研修で職員に共有、把握をしています。	対象児童がいる場合には、適切な説明と手続きを行います。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。